

会場整備部門

今、新たに
早稲田祭2020



会場整備部門

会場整備部門は円滑な会場運営の実現のために
さまざまな視点から活動を行っております。

今年度はオンラインでの開催となり、
例年通りの会場基盤整備を行うだけでなく、
新型コロナウイルス感染防止のための
活動も行っていく所存です。



開発部門

今、新たに
早稲田祭2020



開発部門

開発部門は理想の早稲田祭の実現のために、
早稲田祭2020における新領域の開拓・発展余地の拡充
を目的とした運営スタッフ企画（旧名称：本部企画）
・取り組みを行っています。

今年度はオンライン上での開催に伴い、今までのさまざまな制約
に囚われない新規企画の立案・運営を行います。

普段とは違う早稲田祭だからこそ、その可能性を模索し、
多角的な視野で活動が続けています。



企画部門

今、新たに
早稲田祭2020



企画部門

企画部門は
1日目開幕企画／1日目閉幕企画
2日目開幕企画／2日目閉幕企画
の全4企画を演出・運営していきます。



広報制作部門

今、新たに
早稲田祭2020



広報制作部門

広報制作部門は
早稲田祭の情報発信、イメージ管理及び演出を行い、
早稲田祭のブランド価値を向上させることを目標としております。

今年度はオンライン開催ということで、
場所を問わずたくさんの方にお楽しみいただけます。
これまでは早稲田祭に馴染みのなかった方々にも
早稲田祭を認知していただけるような
マーケティング戦略に注力しております。



財務部門

今、新たに
早稲田祭2020



財務部門

早稲田祭の予算の管理を担っています。

今年度は、新型コロナウイルスによる協賛金の減少が見込まれています。
総支出額は2000万円程度になる見込みですが、収入面において不安な部分があることが正直なところであります。

そのため今年の、そして今後の早稲田祭の更なる発展には、
OB・OGの皆様から
のご支援が不可欠なものと考えています。



参加対応部門

今、新たに
早稲田祭2020



参加対応部門

参加対応部門では参加団体・参加者の管理監督及びサポートを行っています。

新型コロナウイルスの影響でオンライン開催となった
今年の早稲田祭でも約250もの団体さんが
参加の申し込みをしてくださいました。

早稲田祭に参加していただく全ての団体さんにより良い企画・満足いく企画を行って
いただけるよう、団体さんの希望を聞き、寄り添いながら
日々試行錯誤を繰り返しています。



渉外部門

今、新たに
早稲田祭2020



渉外部門

渉外部門は大学外部の主体である、企業・校友・地域といった方々との信頼関係を構築し、さまざまな形で早稲田祭2020へのご理解・ご協力を獲得しています。

今年度は活動にさまざまな影響がある中でも
オンライン開催に対応した協賛形態の模索や
オンラインツールを用いた外部主体との関係性の構築を行うことで
役割を全うしようと尽力しています。



総務部門

今、新たに
早稲田祭2020



総務部門

運営スタッフの人的資源・物的資源・情報資源にアプローチして、
内部環境の整備と組織活動の推進を図っています。

運営スタッフの基盤を整え、その活動を円滑化する目的を持つため、総務
部門の活動は決して絶やしてはなりません。

そのため、総務部門では膨大な内部備品の管理をはじめ、
オンライン開催の中でも
運営スタッフの行動の幅を広く想定して、常に彼ら
の要望に応えられる体制づくりに努めています。



システム部門



今、新たに
早稲田祭2020

システム部門

システム部門は早稲田祭2020のオンライン開催におけるプラットフォームを整備するための部署です。

早稲田祭2020のオンライン開催のために新設されたシステム部門の活動は、オンライン開催における配信媒体の策定や機材の整備、視聴者にお楽しみいただけるWebサイト機能の実装など多岐に渡ります。

史上初のオンライン開催ということで、不明瞭な部分もございますが、早稲田祭2020が少しでも良いものになるよう運営スタッフ一同全力で活動しております。

